



# ハカルワカル 広場 だより

八王子市民放射能測定室

第 10 号

2014. 8. 28 発行

発行元 八王子市民放射能測定室 ハカルワカル広場  
〒192-0053 八王子市八幡町 5-11 八中ビル2F

URL: <http://hachisoku.org> E-mail: [hachisoku@gmail.com](mailto:hachisoku@gmail.com) 電話: 042-686-0820  
郵便振替口座: 00180-8-290904 八王子市民放射能測定室



## ジャビルカの背景と現在

細川弘明氏（京都精華大教授）講演の主な要旨

6月21日の「ジャビルカ」の映画会で、ジャビルカの日本語監修をされた細川弘明先生に、ジャビルカの背景、またその現在について講演をいただきました。以下はその要旨です。（紙面の都合上、主要な点だけに絞りました）

### 【核燃サイクルのウソ】

電力会社が出す、核燃サイクルのイラストには二つのウソがある。一つは、ウラン採掘→濃縮→原子力発電→再処理→再使用と、まるでリサイクルできるかのように書いてあるがこれが大ウソ。再処理後の再利用は現在のところできていない。二つ目のウソは、この各段階（採掘、製錬、発電、再処理など）のそれぞれに異なった種類の核のゴミが出るが書かれていない（日本政府は、核のゴミの処分方法を示していない）。採掘より以前のウラン鉱の探査の段階から核のゴミは出る。そして環境を汚染する。特にウラン採掘の残土はアボリジニーを環境汚染、人体への被ばくという形で苦しめている。（アボリジニーは川の貝や水鳥をとって食べるため、汚染の影響を受けやすい）原発は最初の段階から人体を危険にさらすことを前提にした発電である。

### 【先住民アボリジニーとウラン鉱山】

ジャビルカ（オーストラリアの北部にあるウラン鉱山）は1998年の反対運動によって、現在は採掘が凍結されている。しかし、白紙撤退ではないので、注視が必要。もう一つのレンジャー鉱山は今も今後も採掘予定。ここは、日本

の九電、関電などがウランを買い付けている。

オリンピックダム（南部にある鉱山）は、東電などが買い付けていたが、アボリジニーにとって、生きるために大切な水が、ウラン採掘と製錬に大量に必要なため、枯渇の危機にある。また、製錬工場は化学プラントなので、大量の酸性の汚染水が出るが、ときどき放流するため、川や環境を汚染し、アボリジニーを苦しめている。

### 【主なQ&A】

**Q：**アボリジニーは採掘現場等で雇用されて、健康被害が出ているのか。

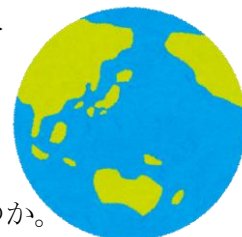
**A：**基本的に地元の住民を採掘作業にあてず、都市の若者を18か月の短期契約で雇用。採掘と罹患の因果関係がわからなくされている。

**Q：**オーストラリアのウランはどの国に最も輸出されているか？

**A：**以前は日本だったが、今は、中国とインドが主な輸出先。

**Q：**中国ではチベットがウラン採掘場とごみ処分場、ウイグルが核実験場か？

**A：**そうだ。世界的に見ても、核保有国がごみ処分場、ウラン採掘場、核実験場とは重なっていない。アメリカは本来、先住民の地であるネバダ砂漠を実験場とし、旧ソ連はカザフ人が住む、カザフスタンで実験した。イギリスの核実験もオーストラリアの砂漠でおこなわれ、アボリジニーが被曝した。（ハカルワカルだよりの担当者が細川先生のご許可を得てまとめました）



## ジャビルカ上映会によせて

松平 久重

お花見デモで二宮さんを見かけて思わず「お手伝いをしましょうか」と言ってしまったのが運の尽き。それから約 2 か月間、「ジャビルカ」が後頭部におんぶお化けのようにとりついて離れないこととなります。テニスで汗を流している時や忙しくしている時以外、ふと自分に帰ると「ジャビルカ」が頭を持ち上げます。どうやって資料を集めようか、どの程度でよいのか、暗中模索。その間、細川先生の参加が現実的になったり、二宮さんの不在（出張）の可能性が出てきたり。

兎も角調査を進めようと思い、日野図書館に「原子力年鑑」・「原子力市民年鑑」を調べに行き、雑誌「オルタ」のバックナンバーを取り寄せ、また、ネットで「ジャビルカ」を約 100 項目当たったり、「ジャビルカ通信」を全て読んだり、「世界のウラン鉱山」をチェックしたり、関連項目を探したりしていると芋づる式にどんどん事実が浮かび上がってきました。ウラン鉱山採掘でどんなに人々が苦しんでいるか、胸にこみ上げるものが多々ありました。そうか、この気持ちを、当日、映画会に来てくれる人に訴えればいいのか。あとは大事な事実を選び、アレンジして、せりふに仕立てあげるだけでした。

当初五分間の約束が、結局 10 分近くになってしまいましたがどれも外せない事ばかりでした。申し訳ありませんでした。しかし参加者の反応がとても素晴らしく、「真摯に聞いてくれている」ことを肌を感じていました。特にアンケートにこう書いてくれた人がいたそうです。「福島の人々を見捨て、踏みにじっているのと同じだ」。私が言おうとして言わなかったことが伝わった瞬間です。感動でした。このような機会を与えてくれた「ハカルワカル広場」に感謝！ありがとうございました。

## 維持会員さんの声

あのとき

維持会員 杉田 晴夫

あの事故から 3 年 4 ヶ月が経ちました。

いろいろ忘れてしまいがちな私ですが、「あのとき」のことは今でも鮮烈に憶えています。

テレビ画面の爆発映像やヘリコプターの注水映像は、とても現実とは思えませんでした。

「計画停電」で真っ暗な道路を、配達の仕事のため車で走ったときは危険を感じました。

浄水場の水から放射性ヨウ素が検出され、スーパーの棚からペットボトルが消えました。

テレビ CM は公共広告機構のものだけになり、金子みすずの詩が印象的でした。

「こだまでしょうか、いいえ、誰でも。」

事故当初、当時の菅首相は「東日本が潰れる……」という危機感をもったそうです。私自身は「万が一のとき、この地から脱出は可能だろうか」と動揺したこともありました。そう、あのとき誰もが「危機」を感じていたのだと思います。実際に東京から避難した人もたくさんいたはずです。

あの事故から 3 年 4 ヶ月が経ちました。

今、東京で暮らす人々の日常は「前」に戻ったかのように見えます。夜は明るく街を照らしています。

しかし、事故の記憶は、多くの人々の心や暮らし方を間違いなく激変させました。様々なことが「前」とは違った方向に動き出しています。そして、この「ハカルワカル広場」の活動が、暗い海原を照らす灯台のように、これからもずっと新しい方向を照らす役割を続けていってほしいと思っています。



## ボランティアスタッフ紹介

1)住んでいる町、2) 趣味・特技、3) ハカルワカル広場への願い

### 金子淑子 (不定期)

- 1) 八王子市長房町
- 2) 読書(幼い頃から本の虫)・旅(その辺でも遠くでも、思い描くだけでも・・・)
- 3) チェルノブイリの時も JCO の時も問題意識も危機感も持ちながら見過ごしてしまいました。金八デモとハカルワカル広場には今度こそ自分ができることを生活の一部として続けたいと参加しました。「子供たちの平和で安全な未来」を希求することは、命を人権を尊重すること全てに通じると思います。

### 池末祐子 (木曜日の午前中。6月末まで)

- 1) 八王子散田町
- 2) 読書、映画、音楽、漫画、手芸、パン作りと節操もなく何でも好き。最近新たに手作り石鹸も始めてしまいました。ハマリそうです。
- 3) 7月から仕事を始めてしまいボランティア活動に参加できなくなりとても残念です。志の高い元気な皆さんと一緒に時間を過ごせて楽しかったです。放射能問題はこれからが正念場。原発も戦争もうんざりです。これからも応援し続けます!

### 村松智子 (土曜日の午前中)

- 1) 八王子市長房町、
- 2) ジョギング：普段は3km、シーズンには10kmまで。いつかはハーフを走りたい。小さな花や植物を育てること。
- 3) 原発はダメだという感覚が日増しに強くなり、昨秋に初めて官邸前デモに行きました。それからは身近で何か活動したいと思うようになり、この広場を見つけました。皆が無理なく参加でき、知識を得て、励まし合える場であってほしいです。

## ボランティアのつぶやき

ボランティア 小林 恵美

1986年：東京から青森の弘前に住んで2年、3歳2歳0歳の3人の子どもの母親。それが私。もともと、作る事が大好きだったので、子供たちには安心して安全な物を。そう思って日々ごはんを作り食べる。そして遊ぶ。無農薬の美味しいお米や野菜を作ってくれる農家が近くにあり、もりもりと良く食べる子供たちに囲まれ、にぎやかな日常と恵まれた環境。

4月：東北の最も美しい花が咲き乱れる季節。そんな時に起きたチェルノブイリの事故。遠くの国に起こった事でも、日本政府の輸入基準の甘さに心配になったのが、原子力利用への疑問。それからず〜っと、もっと考えなければならぬと思ってきた。のに・・・

それは、自分でできる範囲、例えば、

- ・生活の中で、電気の無駄や資源の無駄をしない。
- ・使える物はとことん使う。
- ・自然にもどる物で、生活をする・・・

本当に自分の出来る範囲だけだった。

だから福島事故は、知っていた自分なのに、何もして来られなかった。と愕然としたのだった。

行動する事の範囲を少し広げるそんな思いの1つが、ハカルワカルの活動にボランティアとして活動する事だった。自分に出来る事の一步が少し幅が増えただけだけど、放射能との付き合いは本当に長〜いもの。あまり頑張り過ぎると息切れする事もわかっている。

次の世代の子や孫に、残したい物が沢山あるから、嫌な物は、嫌。と言える様に続けて行くぞ〜ハカルワカルのボランティア。



## 測定結果（平成26年5月～平成26年8月）

検体	採取日	県名	産地・採取地	検体重量 (g)	測定容器 (cc)	Cs137 (Bq/kg)	95%範囲 (± Bq/kg)	Cs134 (Bq/kg)	95%範囲 (± Bq/kg)	備考
廃材の灰	2014年4月28日	東京都	八王子市長池	798	1000	438	88	205	41	
土(公園)	2014年7月12日	東京都	新宿区	748	1000	333	67	130	26	
コシアブラ	2014年5月4日	茨城県		453	1000	326	65	138		
土	2014年4月12日	東京都	練馬区光が丘公園	695	1000	311	62	126	25	乾燥している
庭の土	2014年8月8日	東京都	八王子市東浅川	536	500M	291	58	104	21	60分測定
庭の土(芝生)	2014年7月14日	東京都	日の出町	591	1000	277	55	141	28	
掃除機のゴミ	2014年1~8月	東京都	八王子市東浅川	142	1000	264	61	102	29	
土まじりの苔	2014年5月16日	東京都	八王子市打越町	404	1000	262	53	124	26	
土壌	2014年6月採取	東京都	練馬区	902	1000	245	48	109	22	
木炭	2014年4月購入	不明	八王子で購入	192	500M	215	45	76.7	17.7	1時間測定
土壌	2014年6月採取	東京都	練馬区	679	1000	210	42	91.2	18.9	
土(公園)	2014年7月24日	東京都	千代田区	1235	1000	208	42	92.2	76	
土(公園)	2014年7月6日	東京都	世田谷区桜丘	530	1000	187	38	89.3	19.1	
土壌	2014年6月採取	東京都	練馬区	729	1000	186	37	81.5	17	
シダ植物	2014年5月8日	福島県		197	1000	185	43	96.9	24.7	
小学校1の砂場の砂	2014年5月	東京都	稲城市	972	1000	171	34	79.2	16	
掃除機のゴミ	2014年7月26日	東京都	八王子市八幡町	297	1000	148	31	68.2	15.8	1時間測定
掃除機内のゴミ	2014年1月~5月	東京都	八王子市川口町	248	1000	135	32	73.2	18.9	
落葉	2014年7月26日	東京都	稲城市矢野口	120	1000	131	34	111	29	1時間測定
庭の土(北側)	2014年7月14日	東京都	日の出町	902	1000	101	21	61.6	13.1	
木炭	2014年4月購入	不明	八王子で購入	459	1000	95.9	21.5	37.5	9.8	
土(土壌プロジェクト)	2014年6月	東京都	八王子市元横山町	1000	1000	94.5	19.4	49	10.5	
腐葉土	2014年5月購入	栃木県	那須塩原市	590	1000	91.5	20.2	40.7	9.7	
カーテン	2011年以前~ 2014年6月まで使用	東京都	八王子市大和田町	152	1000	89.5	27.9	49.6	20.5	
小学校1校庭右角	2014年5月	東京都	稲城市	1451	1000	86.8	17.4	42.1	8.7	
土壌	2014年6月採取	東京都	練馬区	1332	1000	82	16.8	45.9	9.6	
土(土壌プロジェクト)	2014年6月	東京都	八王子市元横山町	1462	1000	80.7	16.6	51.2	10.6	
小学校1校庭中央	2014年5月	東京都	稲城市	1632	1000	73.1	14.6	32.3	6.8	
用水路の泥	2014年8月上旬	東京都	日野市	1230	1000	72.2	15	36.3		
小学校1校庭学童クラブ前	2014年5月	東京都	稲城市	1346	1000	70.4	14.5	36	7.7	
落葉	2014年5月2日	東京都	日野市	274	1000	67.7	18.3	32.1		

検体	採取日	県名	産地・採取地	検体重量 (g)	測定容器 (cc)	Cs137 (Bq/kg)	95%範囲 (± Bq/kg)	Cs134 (Bq/kg)	95%範囲 (± Bq/kg)	備考
庭の土	2014年5月9日	東京都	八王子市打越町	917	1000	67.3	13.8	40.1	8.4	
川底の土(泥)	2014年8月9日	東京都	日野市(多摩川)	857	500M	65.5	14.1	28	6.4	
畑の土	2014年5月7日	東京都	八王子市館町	1061	1000	47.1	10.4	23.6	5.6	
苔の下の土	5.29 採取	東京都	八王子市打越町	1148	1000	46.1	3.4	27.6	3.3	
小学校1排水口前の土	2014年5月	東京都	稲城市	1513	1000	44.5	9.5	23.2	5.2	
小学校2校舎右角	2014年5月	東京都	稲城市	1455	1000	44.4	9.6	24.4	5.5	
土	2014年7月31日	東京都	八王子市館町	990	1000	42.9	9.7	23.9	5.7	
小学校2ブランコ前	2014年5月	東京都	稲城市	1704	1000	40	8.6	19.8	4.5	
小学校2滑り台前	2014年5月	東京都	稲城市	1233	1000	38.2	8.6	21.3	5	
公園の砂	2014年8月20日採取	東京都	日野市	1243	1000	36.2	8.4	30.7	9.5	
庭の土	2014年6月採取	東京都	小金井市	934	1000	33.9	7.9	16.8	4.5	
小学校2校庭中央	2014年5月	東京都	稲城市	1464	1000	33.4	7.5	16	3.9	
畑の土	2014年7月16日	東京都	青梅市河辺町	784	1000	32.7	8.2	23.4	6	
竹炭	2014年4月購入	不明	八王子で購入	224	1000	32.6	10.4	9.8	以下	
自宅の土	2014年7月16日	東京都	青梅市千ヶ瀬町	966	1000	30.9	7.6	28.6	6.7	
土壌	2014年6月採取	石川県		671	1000	24.3	7.4	15.9	5.8	
タケノコ(生)	2014年4月29日	東京都	八王子市中山	514	1000	18.6	5.6	6.9	3.7	60分測定
ローズマリー	2014年7月28日採取	東京都	多摩市	200	1000	18.3	10.7	15.4	以下	60分測定
園芸用培養土	2014年5月入手	栃木県	栃木のメーカー産	739	1000	14	5.2	15.4	4.9	
畑の土	2014年6月12日採取	山梨県	大月市	1180	1000	13.4	4	11	3.4	
川底の土(泥)	2014年8月9日	東京都	日野市(多摩川)	1015	500M	11.9	4.3	15.9	誤検出	自然放射能(カリウム)の影響で、Cs134が誤検出されている
土(園芸用+畑のミックス)	2014年4月ごろ	東京都	日野市	1083	1000	8.4	3.2	6.9	2.7	
小学校2校舎左角	2014年5月	東京都	稲城市	1222	1000	8.2	3.1	6.2	2.7	
土壌	2014年6月採取	石川県	金沢	844	1000	7.8	4.6	24	6.3	
米糠	2012年度産	茨城県		686	1000	6.3	4.1	5.6	以下	
白米	平成25年度産	福島県	福島市	955	1000	6.1	2.8	3.8	以下	
土壌	2014年6月採取	石川県	金沢	919	1000	5.3	4.3	25.7	6.4	



## ハカってワかった話

二宮 志郎

### 5月1日～8月20日測定結果

測定データの集計表は

2014年5月1日～2014年8月20日分になります。

検体種類	検体数	Cs137	Cs134
土・砂	31	27	28
土混じり植物	1	1	1
土・その他	12	11	11
泥、泥水	3	3	2
池水、川水	1	0	0
雨水・雪	0	0	0
水・その他	3	0	0
葉菜	6	1	1
根菜	5	0	0
果実・果菜	20	0	0
穀類	16	2	1
きのこ類	2	0	5
魚介類	2	0	0
肉類	0	0	0
卵類	0	0	0
水産加工品	1	0	0
肉類加工品	0	0	0
野菜・果実類	1	0	0
穀類加工品	4	0	0
飲料	2	0	0
食品混合	0	0	0
茶葉	4	0	0
ペットフード	0	0	0
芽・茎野菜	9	1	2
海草類	0	0	0
食品・その他	2	0	0
植物葉	23	5	4
植物茎・枝	1	0	0
植物根	2	0	0
木質ペレット	0	0	0
植物・その他	0	0	0
灰	1	1	1
炭	3	3	2
その他	6	4	4
総計	161	59	56

### 【驚きのコシアブラ】

「茨城産の山菜で、別に乾燥・濃縮されているようなものでもない普通の生の葉っぱで、セシウムが合算で464Bq/kg」

というのを聞いた時、最初は何か測り間違いではないかと思いました。「関東の植物に出てくる量としてはあまりに高すぎる」と思ったのです。

しかし、いろいろ調べていくとコシアブラというのは非常に激しく土壌のセシウムを吸収する樹木で、「除染に使えないか」という期待もあるような植物であることがわかりました。実際にコシアブラを測った測定データもわずかながらあって、それらはいずれもかなり高い数値を示していました。

そこまでわかって初めて、464Bq/kg というのを「あり得る」数値として見つめなおすことができました。今まで2年以上測定室を続けていながら、こういうセシウム高吸収の山菜があることを知らなかったことは少し恥ずかしい思いでした。一方で、私達ですら知らなかったということから、一般の人たちでこのコシアブラの事実を知っている人は非常に少ないと思います。「珍しい山菜をいただいた」などという機会に不用意に食べてしまっている人も多いことでしょう。

もちろん毎日食べるような人はまずいないと思いますが、これほどはっきり高レベルの汚染がわかっている山菜が存在するというのをどうして消費者庁は強く警告しないのでしょうか。またマスコミもその事実を取り上げないのでしょうか。



その理由の推測は読者にお任せします。私達としては、「コシアブラはセシウム高吸収」という事実をみなさんの頭の中の忘れないうちにしまっておくことをおすすめします。

コシアブラの様な植物が他にもある可能性は大きいです。珍しい食品などで気になるものがある場合、是非測定室に持ってきて測定してみてください。自分たちで調べてわかったことを共有していくことの重要性は、今回のコシアブラの件を見ても明白です。

### 【ラドンガスについて】

私達は放射性セシウムを測定している都合上、この放射性物質に関してはかなり勉強してきました。体内被曝した時の危険性の評価に関しては学者の中にも諸説あるくらいですから、ハカルワカルに集まってくる人の捉え方もいろいろです。

ただはっきり誰もが考えることは、「こんなものを自分の家の庭にばらまかれるのはたまったものではない」ということ、そして同時に、「他人の家の庭にばらまくようなことも決してしたくない」ということです。「自分が嫌なことを他人に強制したくない」というのは誰もが持っている基本的な道徳観だろうと思います。どういうわけか日本の首相は例外のようで、「日本がダメなら海外で」と率先して日本の原発を海外に売り込むのに熱心なようです。

「世界一安全な原発だから、決して放射性セシウムの様なものをばらまく様な事態は起こさない」と心の底から信じているのであれば、首相にもまだ言い訳の余地はあるかもしれません。しかし、仮に原発が絶対に事故を起こさない安全なものであるとし

ても、原子炉の燃料となるウランを掘り出すところから始まる原子力発電の様々な工程が、一部の人達に多大なる迷惑を押し付けることなしには成り立たないことははっきりしています。

ウラン採掘現場だけをとってみても、イエローケーキを作った後の残滓を広大な溜池のようなところに廃棄している様子を見て、あれが自分の町に来て歓迎すると言える人がいるでしょうか。景観を著しく破壊するだけではなく、その残滓の中には大量の放射能があり、放射性のラドンガスが周辺に放出されています。

そこへの想像力を働かせるために、ラドンガスの危険性も少し知っておいて欲しいと思います。

ラドンガスの危険性は WHO の調査で明白になっています。WHO のラドンハンドブックには、「全肺がんのうちラドンに関係したものの割合は、国のラドン濃度平均および計算法の違いによって、3%から14%の間と評価されている」、「ラドンガス濃度が100Bq/m<sup>3</sup>増加するごとに肺がんリスクが10%~20%程度増大する」とあります。

ウラン鉱山近辺になると、ラドンガス濃度が数万Bq/m<sup>3</sup>のレベルに及ぶこともあります。これをよその国の一部の地域の人たちに押し付けて、「原子力はクリーンなエネルギー」と言っていることは、あまりにも恥ずかしいことでしょう。

ハカルワカルではラドンの測定はできませんが、その存在を示す娘核種のビスマス 214、鉛 214などをスペクトルで知ることはできます。多少のラドンガスには曝されながら生きていることを実感できません。あくまで「多少」です、私達の場所では。





## 測定室からのお知らせ



### \* (第3回)ハカってワカろう!放射能測定体験 倉沢の里山にて

5月17日(土)9:00~12:00 日野市倉沢の里山にて大人11人、子ども6人、スタッフ13人の計30人の参加で、清澄な空気と緑の滴る里山で測定活動と森林浴を満喫。線量もとても低く、汚染がこんなに低いところは珍しいと言いながらの測定でした。盛況のうちに測定会ができました。好意的に測定会をさせていただいた倉沢の里山の皆様に感謝いたします。

### \* (第6回)ハカルワカル映画会「ジャビルカ」

ジャビルカの日本語監修をされた細川弘明先生にも来ていただき、ジャビルカの背景と現在を解説いただきました。松平さんと二宮さんの事前学習の解説もあり、大変充実した映画会になりました。原発は事故がなくても、ウラン採掘時から採掘労働者の被ばくと環境汚染を前提としたものだと、理解を深めました。アンケートの感想もとても好評でした。

### ハカルワカルの本棚から

#### \* 「脱原子力政策大綱」原子力市民委員会編 宝島社刊

会員の大友深雪さんからハカルワカルへの寄贈。市民が作った脱原発への道筋——現実的具體策を提案。

#### \* 「修羅から地人へ」福岡賢正著 南方新社刊

原発に警鐘を鳴らし、市民の側に立ち続ける物理学者藤田祐幸の生き方を毎日新聞西部本社の福岡賢正が取材。真の豊かさとは？

#### \* 「原発は滅びゆく恐竜である」水戸巖講演集 緑風出版

水戸巖は破局的事故が起きる可能性について指摘し、周辺で生じる被害についても警告。彼の分析の正しさは、チェルノブイリ原発事故、福島第一原発でも不幸にも証明された。

### 編集後記

西田 照子

ある日の測定室。三歳くらいのお子さんを連れた若いママさんが「更新を二口お願いします」と。「えっ？ どうして？」と尋ねると、「娘の分も一口。存続してほしいので」と言われる。ハカルワカルの存続を心から心配して下さっているのだと胸が熱くなる。こんなに厚い信頼と、存続を切望されているハカルワカル。期待に応えなくてはと、責任を感じた。原発のない社会を目指して頑張ります！

### 今後の予定

\*お茶会 9月6日(土)、10月4日(土)、11月1日(土)

\*第7回映画会 9月20日10時、午後1時 の2回上映  
「ハードレイン」 ハカルワカル広場にて

\*第4回「ハカってワカろう」焼きそば大会つき!

10月19日(日)9時より「おっさん牧場」にて

\*映画会 12月6日 北野市民ホールにて 上映作品未定

